



いせはら市民活動サポートセンター (サポセン)は設立15周年目に!

サポセンは今年2024年11月には開館15周年記念を迎えます。期初にあたり今までのサポセンを振り返り、今後のサポセンの課題について考えます。

◆ サポセン登録団体数と利用実績推移

設立以来昨年までの14年間にサポセンに登録した団体数と、来館した延べ団体数・人数の推移を年別グラフに示します。

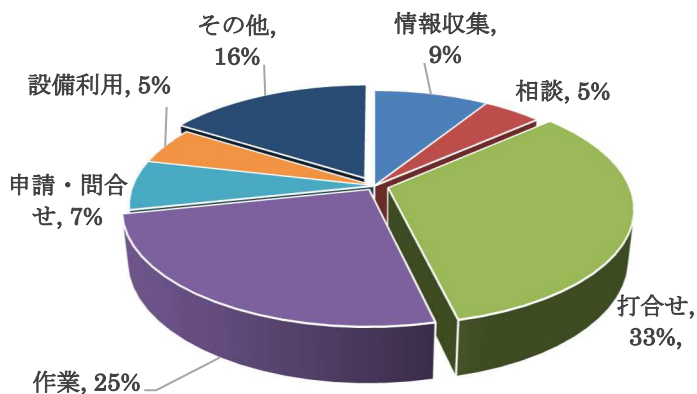
- ・折れ線 サポセン登録団体 (以下団体と略) 数
- ・左縦棒 利用団体数
- ・右縦棒 利用者数

団体数は、設立時84団体で始まり、現在222団体で2.6倍になりました。利用件数と利用者数は

'18年当時は市民活動に活力があり、それに応じてサポセンをフル活用していました。

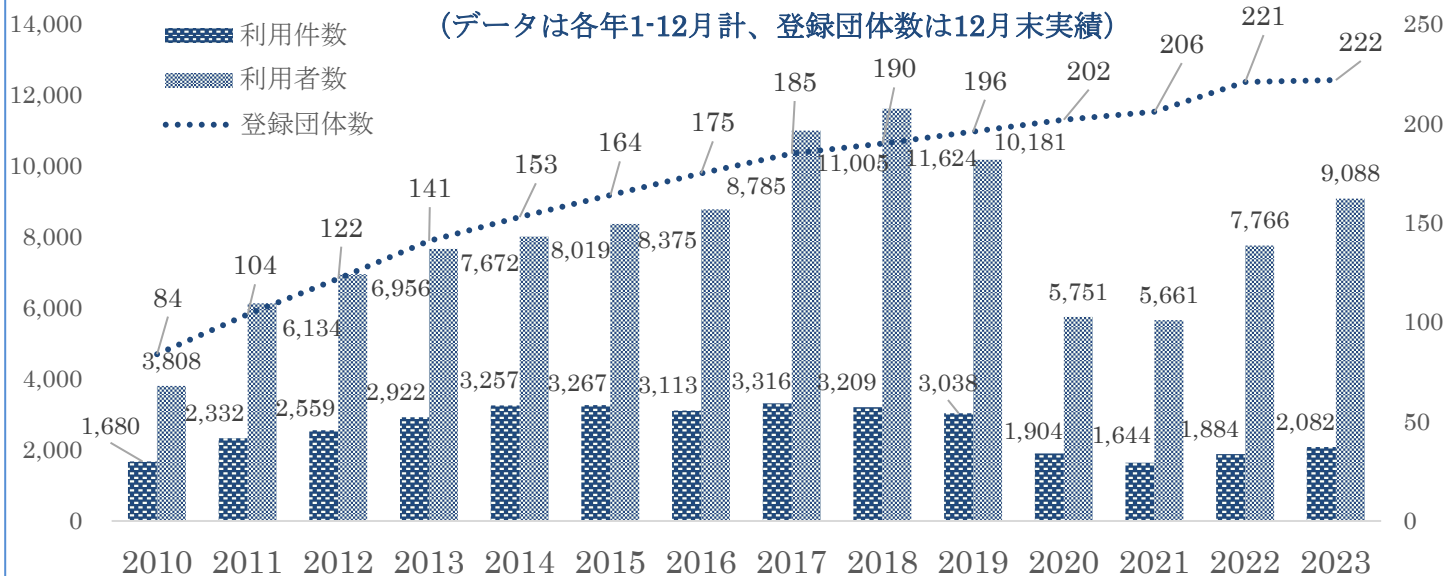
◇ サポセンの利用目的

下図は'23年12カ月の来館者の利用目的を示しています。打合せが33%、作業が25%、情報収集が9%、そして申請・問合せが7%でした。



サポセン登録団体数とサポセン利用推移：件と人数

(データは各年1-12月計、登録団体数は12月末実績)



'18年まで一気に伸びてきましたが、'19年末からのコロナ感染拡大で半減し、'21年からは回復しつつあります。サポセンの利用を見ますと'23年度は222団体中124団体が利用し、その率は56%。ピークの'18は190団体中169団体が利用し、その率は実に89%に達していました。この数字は、市民活動の活性度を示す一つの指標で、

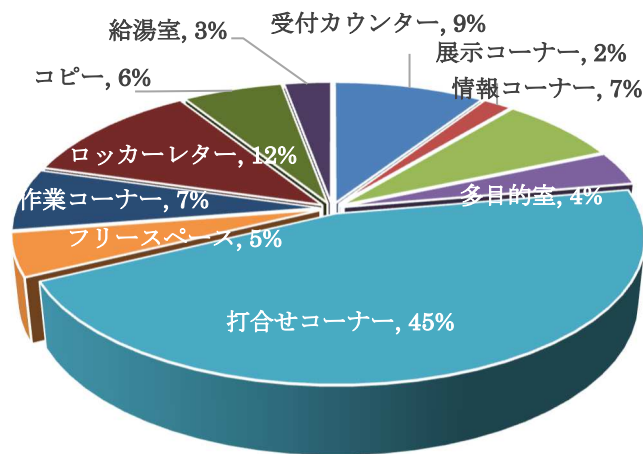
コロナ5類移行後、サポセン利用者数も徐々に増加しています。新規登録の目的には、印刷機、プロジェクター、マイク・スピーカーなどサポセンの備品・設備の利用も大きな契機になっています。

サポセン通信 第54号 もくじ

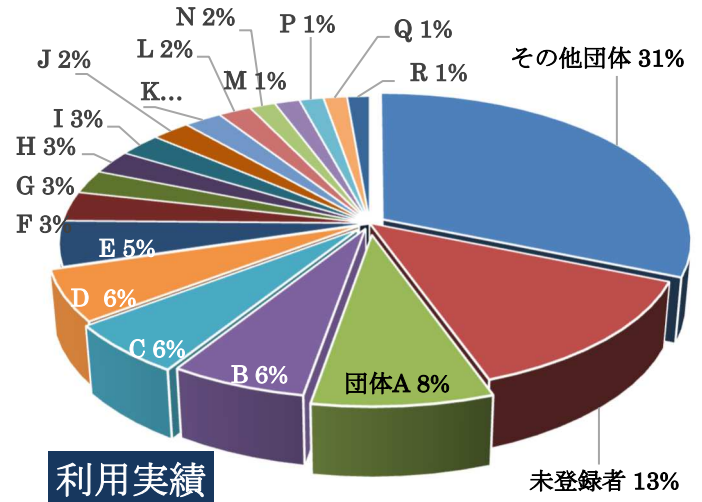
- 1~3面 サポセン15周年記念に向けて
- 4面 登録団体の紹介/新規登録団体の紹介

◆サポセンの設備利用状況

来館の目的に応じてサポセンの設備は、打合せコーナー45%、ロッカー・レターボックス12%、作業コーナー7%と続き、そして受付カウンター、情報コーナーなどが利用されています。打合せコーナーを使った打合せ・会議・勉強会、学習サポート、PC相談、情報収集、そして作業コーナーでの印刷・製本などが典型的な使い方となっています。



団体Rは、毎週1回あるいは月2回程度の定期的な利用です。現状、サポセンの利用は、固定した団体の定期的な使用傾向にあります。その他の団体も必要時に31%が利用しています。他方見逃せないのは未登録者の13%で、パソコンで情報を入手したり、登録団体の発行する定期情報誌やチラシなどを持ち帰ったり、またPC・携帯に関する質問、相談などの為に来館しています。



◇サポセンで利用された設備・機器

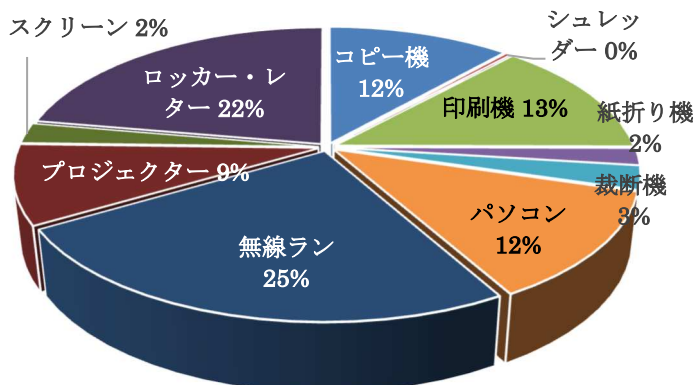
設備機器の利用では、Wi-Fiは必須でZOOMを利用している団体が約10団体あり、リモートで会議に参加されています。印刷機とコピー機に加え、紙折り機と裁断機が37%利用。館内外でのプロジェクターとマイク・スピーカー貸出しもサポセンの大きな役割になっています。そしてロッカーは大・小ともに、それらの利用は80%に達しています。

◇今までの団体参加イベント

サポセン設立以来、団体の皆さんと一緒に課題解決のためのイベントがいろいろあります。団体が集まって市民活動についての意見・情報交換して横の絆を広げてきました。サポセンに新しい設備が入るとその使い勝手をセミナー化して使い易くしてきました。また「市民活動とは何か」から始まる「お役立ち講座」のシリーズ化がありました。シニアの為にPC講座とワードソフトを利用した実践教育を開催、会報やチラシの作製支援を行ってきました。またかつては市民活動支援助成金制度があり、申請時のプレゼン支援も行っていました。そして団体が連携し一体となって行う大きなイベントとしてサポセンフェスタは今も継続しています。

※団体とサポセンが行った今までのイベント

企画・啓蒙・活性化・推進行事	過去	現在
利用登録団体懇談会	○	
ボランティア活動の為に基礎講座	○	
新春交流会	○	
ワードで作る会報誌作り講座	○	
市民活動支援助成金の為にプレゼン	○	
市民活動支援助成金の成果報告	○	
お役立ち講座（7回開催）	○	



◆サポセンの利用の実態

‘23年は124団体および未登録の市民が延べ2,082回サポセンを利用しました。右上の円グラフは、どのような団体がサポセンを利用しているのかを示しています。利用回数の多い順に、団体Aから団体Eは毎週2回定期的に利用。また団体Fから

カラー印刷無料体験会	○	
高齢者のための社会参加講座	○	
市民活動促進検討会議	○	
現況アンケート調査	○	
来館者記念品の進呈	○	
シニアのためのPC講座	○	
タウンニュースに団体紹介記事掲載	○	
サポセン公設民営化検討会	○	
登録団体親睦会	○	
サポセン運営協議会（仮称）	○	
サポセン協議会	○	
サポセン公設協営検討会	○	
サポセンフェスタ準備協議会	○	○
サポセンフェスタ実行委員会	○	○
サポセンフェスタ開催	○	○
サポセンフェスタ参加者アンケート	○	○
サポセンフェスタ振り返り会	○	○
ポスター展示（市役所ロビー）	○	

◆サポセンの基本的機能の確認

●サポセンの基本的な機能：ハード面とソフト面

- ・場／スペースと機器／機材の提供
- ・情報の収集と提供（インターネット必須）
- ・助言／アドバイスの提供
- ・市民活動の活性化／啓蒙／そのための企画立案
- ・登録団体の絆の確保（懇談会・協議会開催）
- ・イベントの開催
- ・市民協働課との協業事業のサポート など

【実践例1】DX・デジタル化の更なる推進、進化により高齢者は情報に取り残される状況にサポセンとしてどう対応するかについては、一つのソリューションがあります。サポセンの元スタッフであった方々が、新たな市民活動団体を立ち上げ、サポセンを拠点に活動し、特に高齢者向けのパソコンや携帯に関する相談体制を構築し、市民の方や団体のメンバーから大きな信頼を得ています。高齢者を狙った詐欺メールに引っかからないよう防止し、被害を出さないように注意喚起にも役立っています。

【実践例2】サポセンよりも、より多くの市民が各公民館で実活動しています。そこで市民へ団体を紹介し、また公民館のみを活動拠点とする団体へ、サポセンの活用などをアピールする機会を設け、公民館とサポセンを結び付ける工夫が必要です。これには、今後、計画のポスター展が非常に有効と考えられ、

より多くの市民に、子どもとその親も含めて市民活動を浸透できるチャンスです。

◇サポセンのこれからについて

いせはら市民活動サポートセンターは、昭和58年に建築された神奈川県企業庁伊勢原水道営業所（当時）の一部を借りて、平成21年11月に開館しました。建物自体は建築から40年を経過しており、今後、老朽化の進行が想定されるため、サポセンの在り方をハード・ソフトの両面から考え直す時期にさしかかっています。

ハード面の課題は、前述の通り建物の老朽化に伴う今後の機能維持です。現在、サポセンの建物は神奈川県企業庁と2年ごとに契約を更新し、年間100万円超の賃貸料を払っています。令和6年度までは契約済みですが、令和7年・8年度の契約を無事結べる保証はありません。また、建物の法定耐用年数が50年であることを考えると、神奈川県が近々「神奈川県公共施設等総合管理計画」に基づき当館を整理（廃止）する可能性も拭いきれません。

そのような中、今年度、市が策定した「公共施設再配置プラン」において、サポセンは、行政センター地区内の他の施設への機能移転への検討を行うことが打ち出されました。同計画内ではソフト面においても、市民主体の運営の実現に向けた検討を行うことが明記されており、市民協働課も識者の意見を取り入れながら進めているようですが、なかなか進捗が思わしくないようです。

令和5年度に、サポセン登録団体を中心として2回行われた会議の中では、市民主体の運営を検討するための新協議会の設立について、一定の方向性を合意したほか、「全登録団体に活動状況調査を行い、実態を把握した上で新協議会の構成員を考えるべき」といった意見に基づいて、活動実態調査を行うこととしました。途中、サポセンフェスタを挟んだため、一旦、新協議会に係る話合いは保留となりましたが、令和6年度のサポセン協議会では、改めて新協議会の立ち上げについて議論していきたいと考えているため、積極的な参加をお願いいたします。日程と会場は、メーリングニュースなどを通じてお知らせします。サポセンができること・今やるべきことを一緒に考えましょう。

最後に申し遅れましたが、今年度もサポセンをよろしくお願いいたします。

利用登録団体のご紹介 ③⑥

伊勢原スクエアダンス

【学術・文化・芸術・スポーツ】分野 設立 平成29年
◆代表者：八百板 重男 ◆TEL：090-8435-1891

「人生100年時代」とは言へども、ボケたりベッドでの生活では淋しいですね。輝く為にも健康が第一歩くことはとても大切です。スクエアダンスは歩くだけのマゲームの様なものです。軽快なカントリーマージックに合わせ、8人が1セットで4カップルが四角に向き合い、指導者の指示にそって歩いていきます。指示が英語の単語でされるので脳をフル回転させ刺激することで、日常では味わえない楽しさがあり、心身の若さを保ちます。又、異性と手を繋ぐ為、日常生活のリズムを変えて、心のケアにも役立ちます。男女は問いません、どなたでも、年齢



に関係なく気軽に始められます。見学大歓迎、貴方も是非スクエアダンスを！！一度のぞいてみてください。お待ちしております。

CLUB RELIEF

【学術・文化・芸術・スポーツ】分野 設立 平成30年
◆代表者：中村 剛 ◆TEL：090-9106-1940

2019年に創設し、伊勢原市及び近隣の男女中学生を中心に活動しています。

「スポーツは楽しむもの！」「バレーボールを楽しもう！」をスローガンに、パーソナル目標は「気づく・気が付く・気を利かせる人になろう！」です。

バレーに限らず、普段の生活や社会に出て人として必要なスキルと捉えているからです。練習の質に重きを置き、明るく、楽しく日々練習に励んでいます。体育館の練習や、ビーチでの練習も多く取り入れており、中体連の大会やビーチバレーの大会にも出場しております。今年度は中体連の大会で少しでも良い成績が得られるように頑張っています。初心者の新一年生も一緒に頑張ってお手くなりませんか？お待ちしております。



湘南打楽たまゆら

【学術・文化・芸術・スポーツ】分野 設立 平成20年
◆代表者：山崎 洋平 ◆TEL 080-6580-4222

湘南打楽たまゆらは、日本の伝統楽器である和太鼓を打楽器として捉えなおし楽曲を創作、演奏するグループです。

メンバーは学生と社会人で構成されており、今年で結成16年目を迎えます。コロナ禍では、なかなか思うように活動ができない日々が続きましたが、昨年からは少しずつ演奏を披露する機会を頂くことができました。普段はライブイベントやお祭り等での出演に加え、



幼稚園や小学校、福祉施設等でも演奏をさせていただいております。演奏のご依頼は随時受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。公式HP

<https://dagakutamayura.wixsite.com/tamayura>
公式 instagram
http://www.instagram.com/dagaku_tamayura/

●新規登録団体(2024. 1~)の紹介

4月1日現在、サポセンには公益活動を行う222団体が登録されています。

【社会教育】の分野

2-18 伊勢原女性農業者連絡協議会

【学術・文化・芸術・スポーツ】の分野

6-70 伊志田高等学校野球部後援会

【子どもの健全教育】の分野

13-51 伊勢原市で不登校から学ぶ会 ゆるりん

編集後記

・公民館での市民活動ポスター展を開催企画中です。また11月が待ち遠しいです。設立15周年記念サポセンフェスタの大変賑やかな様子が目に浮かびます。トム

・対話型 AI copilot を無料で使ってみましょう。ブラウザーの edge の右上の方に、次のアイコンがあります。なんでも質問していただけます。

・知らぬ存ぜぬで責任逃れをするような政党は支持できません。かと言って、他に選ぶ政党がありません。いつの世もこんなものですかね。(て)

・私事ですがお花見の季節になりますと、鶴見の三ツ池公園にお花見に行きます。様々な桜が咲いておりますので是非素晴らしい桜を見にいけたらいいかながですか？